

無名の新人ニュース

第 1 号



無名の新人 無所属の挑戦

ご無沙汰致しております、越川まさふみです。4月の市議会議員選挙におきましては、皆さまより多大なる支援を賜りまして、無名の新人・無所属の新人ながら、立候補者52名中第11位という成績で初当選を飾ることができました。陰に陽に応援してくださった皆さま方に、改めてご報告申し上げます。

議員になった後の活動につきましては、これまでもTwitterやブログ等にてご報告しておりますが、より多くの方に越川雅史の活動を知って頂くために、このたび「無名の新人ニュース」を創刊致しました。是非ともご一読頂きますと、感想なども伺えれば幸いです。

なお、今後につきましては、お財布と相談しながらニュースの発行部数と頻度を検討していきたいと思っております。末筆になりましたが、寒さが厳しい日々ですので、お体くれぐれもご自愛くださいませ。

無名の新人 躍進

無所属・越川雅史氏



政治未経験の無所属新人の中では、番多く票を集めた越川雅史氏(37)。当選の一報が届いた事務所には、集まった支援者たちの歓声が響き渡った。

「無名の新人でも志があれば政治家になれる。無所属であっても挑戦する気持ちがあれば戦える」という熱い思いからスタートさせた初めての選挙戦。しかし、震災の発生で活動を一か月間自粛したため、顔を売らなければならぬ新人として「大きな不安を感じていた」。

ただ、その間に緊急時の行政サービスにつ

いて紹介するチラシを作成し、街頭で市民に配布。そのチラシを受け取った女性に先日遭遇した際、「あなたに会いたかった」と感謝の言葉をかけられ、「活動を自粛した自分の選

択は間違いでなかった」と確信した。こうした地道な努力のおかげあってか、投票率が大幅に減少する中、堂々の3千票超を獲得。「多くの皆さん

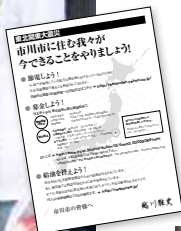
に支援していただいた結果」と感謝の言葉を口にしながら、「元気で夢のある市川を作りたい」というメッセージを多くの方に共感していただけたので、はじめて分析する。初めに挑戦する政治の世界。きょうはゴールではなくスタート。皆さんの期待に応え、選んで良かったと思ってもらえるよう、気持ちを新たに頑張っていく」と新たな舞台での飛躍を誓った。

市川まさふみ 2011年5月7日

※見出し、写真、赤線は記事を加工しています。



チラシを受け取った女性に震災時の活動を感謝される(市川大門通りにて)。



不撓不屈の体力と精神力。選挙中はほぼ自転車「走り」でした。



「若い人に頑張ってもらいたい」と多くの応援の声を頂きました。

ご報告
建設経済常任委員会
副委員長に就任しました

私を見掛けたら「ごっしー」とお声掛けください!